

研究名：胎児 CT の母体や胎児に対する被ばく線量を調査する研究

1．研究の目的

胎児超音波検査で骨格異形成が疑われる場合、超音波検査のみで正確な出生前診断を行うことは困難な場合が多いです。このような場合には、出生後の全身骨撮影と同等の診断精度を持つ胎児骨格 CT が推奨されますが、唯一の欠点は胎児放射線被ばくがあることです。また、胎児放射線量の推定には複雑な計算が必要で、小児放射線科医や診療放射線技師にとって理解しやすい簡便な方法が必要です。そこで、当センターの超低線量胎児 CT 撮影を広く世間に紹介するとともに、撮影直前・直後に得られる CT 検査の線量指数 (CTDI) を用いて、胎児や母体の被ばく線量を簡単に計算する方法を紹介することが目的です。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2014 年 1 月～2021 年 12 月までに超低線量胎児 CT 検査を受けた方。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024 年 4 月

研究方法：胎児 CT 検査を受けられた方の中で、超低線量胎児 CT 検査プロトコールで撮影され、測定された線量指標 (CTDI) (単位 mGy) を抽出し、その平均値を求めます。得られた平均値を文献検索などを用い、検証考察します。

3．研究に用いる情報の種類

胎児 CT 検査を受けられた方の中で、超低線量胎児 CT 検査プロトコールで撮影され、測定された線量指標 (CTDI) (単位 mGy)

CTDI とは CT 検査時に人体に照射する放射線の量をあらわす、CT 検査固有の線量指標です。この数値から被ばく線量が解ります。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守されます。**

4 . 情報の公表

研究内容は学会発表の形で公表する予定です。

公表する学会発表：6NC リトリート 2024 日時：2024 年 4 月 13 日

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、**2024 年 3 月 31 日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 放射線診療部 浅野圭亮

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181 (内線：2700)

研究責任者：

国立成育医療研究センター 放射線診療部 浅野圭亮